

(1) ライフステージ別の歯と口腔の健康づくり

ライフステージ	No	第2次計画の取組項目	令和4年度の取組状況	今後の取組	関係課
妊娠期・乳幼児期	1	歯と口の衛生週間に合わせ、むし歯予防について啓発する。	歯と口の衛生週間の際に保健センターでのポスター掲示、広報での周知を行った。	継続して実施していく。	健康推進課
	2	母子健康手帳交付時に妊婦歯科健康診査を啓発する。	日程一覧表の内容を精査し、母子健康手帳交付時に必要な方に対し健診の勧奨をした。	一覧表の内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	3	乳幼児期からの歯と口腔の発育の大切さについて周知する。	乳児健康診査、子育て相談、もぐもぐ歯っぴい教室でリーフレットを配布し、内容の説明をした。	リーフレットの内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	4	おやつ選びや食生活・歯みがき指導・フッ化物等の知識を普及する。	フッ素入り歯磨剤や理想的なおやつを自発的に選択できるよう、リーフレットの内容を精査し、母子歯科健診等で配布した。	誰にでも分かりやすいようイラスト、写真を使ったリーフレット作りを心がける。	健康推進課
	5	歯間部清掃用器具の使用効果を啓発する。	各健康診査（マタニティ教室、1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査）でフロスの使用効果を啓発した。	使用効果をさらに啓発する。	健康推進課
	6	かかりつけ歯科医を持つよう啓発する。	マタニティ教室、もぐもぐ歯っぴい教室で啓発する。1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査時にリーフレットを配布した。	内容を精査して、かかりつけ歯科医を持つことの重要性を啓発していく。	健康推進課
	7	歯科健診時に必要な人に対し治療勧奨を行う。	母子歯科健診後、対象者に治療勧奨し後日受診状況を確認した。	治療勧奨後の受診状況を確認していく。	健康推進課
	8	マタニティ教室等で、たばこが妊婦・胎児に与える影響をわかりやすく普及・啓発する。	母子健康手帳交付時、対象者に禁煙、受動喫煙についてのリーフレットを配布し説明した。マタニティ教室（一般・歯科）で啓発した。	内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	9	口腔習癖の弊害を啓発する。	母子歯科健診で、口腔習癖がある人に個別で声掛けをし支援し、次の健康診査の際に確認した。	口腔習癖が改善されたか、次の健康診査の際に確認していく。	健康推進課
	10	成長に伴う口腔機能の発達について啓発する。	マタニティ教室（歯科）、離乳食教室、もぐもぐ歯っぴい教室で、身体的発達と、舌、口唇の動きの関連や、口腔の発達に合った食形態について啓発した。	内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	11	80歳になっても20本以上自分の歯を保つことを目標とした「8020（ハチマルニイマル）運動」を推進する。	8020を達成し、健やかな人生を送る為、妊娠中から乳幼児期にかけて身につけておきたい口腔衛生習慣についてマタニティ教室（歯科）で啓発した。	8020達成のための生活習慣の改善方法を、リーフレットを使用し説明していく。	健康推進課

ライフ ステージ	No	第2次計画の取組項目	令和4年度の実施状況	今後の取組	関係課
児童期・思春期	12	歯と口の衛生週間に合わせ、むし歯予防について啓発する。	毎月、給食にかみごたえのある食品を取り入れ、「かみかみの日」を設けて献立表や放送資料で紹介を行った。	継続して実施していく。	学校給食センター課
	13	かかりつけ歯科医を持つよう啓発する。	小中学校において、かかりつけ歯科医を持つよう啓発した。	内容を精査して全校に広めていく。	健康推進課 学校教育課
	14	おやつ選びや食生活・歯みがき指導・フッ化物等の知識を普及する。	小中学校において、おやつ選びや食生活・歯みがき指導・フッ化物等の知識を普及した。	内容を精査して全校に広めていく。	健康推進課 学校教育課
	15	歯と口腔の大切さについて、周知する。	小中学校において、歯や口腔の大切さについて啓発した。	内容を精査して全校に広めていく。	健康推進課 学校教育課
			小学校においてバトンタッチ運動を、海部歯科医師会の協力のもと、実施した。3校約1,100人	継続して実施していく。	学校教育課
	16	歯みがき指導を推進する。	小中学校において、歯みがき指導を実施した。	内容を精査して全校に広めていく。	健康推進課 学校教育課
			小学校においてバトンタッチ運動を、海部歯科医師会の協力のもと、実施した。3校約1,100人	継続して実施していく。	学校教育課
	17	歯間部清掃用具の使用効果を啓発する。	小中学校で、歯間清掃用具の使用効果について啓発した。	使用効果と具体的な使用方法について継続して実施していく。	健康推進課 学校教育課
	18	むし歯・歯肉炎と生活習慣の関係について啓発する。	小中学校で、むし歯・歯肉炎と生活習慣の関係について啓発した。	内容を精査して全校に広めていく。	健康推進課 学校教育課
	19	歯科健診時に必要な人に対し治療勧奨を行う。	歯科健診時に必要な人に対し治療勧奨を行った。	治療勧奨後の受診状況を確認していく。	学校教育課
	20	成長に伴う口腔機能の発達について啓発する。	小中学校で、成長に伴う口腔機能の発達について啓発した。	内容を精査して全校に広めていく。	健康推進課
					学校教育課
21	80歳になっても20本以上自分の歯を保つことを目標とした「8020（ハチマルニイマル）運動」を推進する。	小中学校で、8020について周知をした。	内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課	
				学校教育課	

ライフ ステージ	No	第2次計画の取組項目	令和4年度の取組状況	今後の取組	関係課
青年期・壮年期・高齢期	22	歯と口の衛生週間に合わせ、口腔管理について啓発する。	6月に各保健センターにポスター掲示、広報での周知した。	ポスターの内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	23	口腔疾患と全身疾患の関係性についての知識を普及する。	広報で歯周病と全身疾患について掲載した。	対象者の年代に合った内容のパンフレットを用意する。	健康推進課
	24	医科、歯科、薬科等関係機関との連携を強化する。	医師、歯科医師、薬剤師代表を含む委員で構成される歯と口腔保健推進協議会において情報交換を行い、連携の強化を図った。	継続して実施していく。	健康推進課
	25	口腔機能の向上を啓発する。	市公式ウェブサイトにて健口体操の周知を行う。民生委員より65歳以上の世帯へ、健口体操に関するリーフレットを配布した。	内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	26	歯と口腔の健診の受診勧奨をする。	がん検診または30・35歳健診と同時に、受診者の増加を図った。76歳を対象に受診勧奨はがきを送付した。	パンフレットの内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	27	喫煙が及ぼす歯周病への健康影響について周知する。	喫煙と歯周病に関するリーフレットを歯と口腔の健診受診者と来所者に配布した。	リーフレットの内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	28	80歳になっても20本以上自分の歯を保つことを目標とした「8020（ハチマルニイマル）運動」を推進する。	10020・9020・8020表彰を実施した。	100歳以上の住民の方への調査を実施し、10020表彰につなげる。	健康推進課
	29	介護予防（口腔機能の向上）を啓発する。（高齢期）	介護予防教室で実施した。	継続して実施していく。	高齢福祉課
			歯と口の健康を保つことを目的として、「オーラルフレイルについて学ぼう！」講座を、シルバーカレッジの授業として実施した。 日時：11月15日（火）午前9時30分～午後0時30分 会場：シルバーカレッジ教室 対象：令和4年度シルバーカレッジ受講生	内容を精査して継続して実施していく。	生涯学習課
	30	要介護者の口腔機能向上のため、往診治療や往診歯科口腔指導のサービスについて啓発する。	民生委員を通じて65歳以上の世帯へ健口体操の啓発文書を配布した。はつらつクラブで口腔機能の向上について啓発した。	啓発文書の内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
相談対応時に情報提供を行った。			内容を精査して継続して実施していく。	高齢福祉課	
31	お薬手帳の利用を勧奨する。	窓口に来所された高齢者、各教室参加者に対し、お薬手帳利用の重要性について啓発した。	保健センター利用者に対し、引き続きお薬手帳利用の重要性について啓発を行う。	健康推進課	

(2) 食育との関わり

ライフ ステージ	No	第2次計画の取組項目	令和4年度の取組状況	今後の取組	関係課
乳妊 幼児期・ 幼児期	32	口から食べる準備や、食べる機能（特に咀嚼）と食べ方、摂食機能の発達段階に対応した基本的な支援を実施する。	離乳食教室、もぐもぐ歯っぴい教室において、口腔発達段階に応じた適切な食形態、食べ方や食べさせ方の情報提供を行った。	医師、歯科医師、保健師、管理栄養士、看護師、歯科衛生士等との意見の統一を図りながら、継続して実施していく。	健康推進課
児童期・ 思春期	33	歯の生えかわりに応じた摂食機能の食べ方の支援や味覚の発達に関する支援を実施する。	小中学校で、歯の生えかわりに応じた摂食機能の食べ方の支援や味覚の発達に関する支援を実施した。	ゆっくり食べることが、味覚の発達につながることを引き続き啓発していく。	健康推進課 学校教育課
青年期・ 壮年期	34	食べ方による生活習慣病対策に関わる支援を実施する。	栄養相談の際に、必要な方にゆっくりよくかんで食べるよう指導した。	ゆっくり食べることが、生活習慣病対策につながることを広く啓発していく。	健康推進課
高齢期	35	口腔機能の維持や、機能減退による誤嚥・窒息の防止を始めとする安全性に配慮した支援を実施する。	民生委員を通じて65歳以上の世帯へ健口体操の啓発文書を配布した。はつらつクラブで口腔機能の向上について啓発した。	内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課